

三菱UFJ 資産設計ファンド (バランス型)

追加型投信／内外／資産複合



【愛称】

作成対象期間：2022年7月12日～2023年1月10日

第 62 期 決算日：2022年10月11日

第 63 期 決算日：2023年1月10日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、世界の株式・債券・オルタナティブ資産を実質的な主要投資対象とし、分散投資を行うことにより、着実な値上がり益の獲得と安定した収益の確保をめざすことを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

(注) 当運用報告書の本文におきましては、指定投資信託証券の名称について「(適格機関投資家専用)」、「(適格機関投資家限定)」の表記を省略させていただきます。

第63期末 (2023年1月10日)

基準価額 9,586 円

純資産総額 1,520 百万円

第62期～第63期

騰落率 -2.7 %

分配金合計(*) 60 円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

〔ファンド検索〕に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第62期～第63期：2022年7月12日～2023年1月10日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第 62 期 首	9,918円
第 63 期 末	9,586円
既払分配金	60円
騰 落 率	－2.7%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ2.7%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

＞ 基準価額の主な変動要因

下落要因

組み入れを行った指定投資信託証券のうち、絶対収益追求型運用、不動産投資信託などの資産クラスが下落したことが基準価額の下落要因となりました。

2022年7月12日～2023年1月10日

1 万口当たりの費用明細

項目	第62期～第63期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信 託 報 酬	52	0.524	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(22)	(0.226)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(27)	(0.276)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	0	0.000	(b)売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
(c)有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.001)	
(d)そ の 他 費 用	0	0.003	(d)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.001)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	52	0.528	

作成期中の平均基準価額は、9,892円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

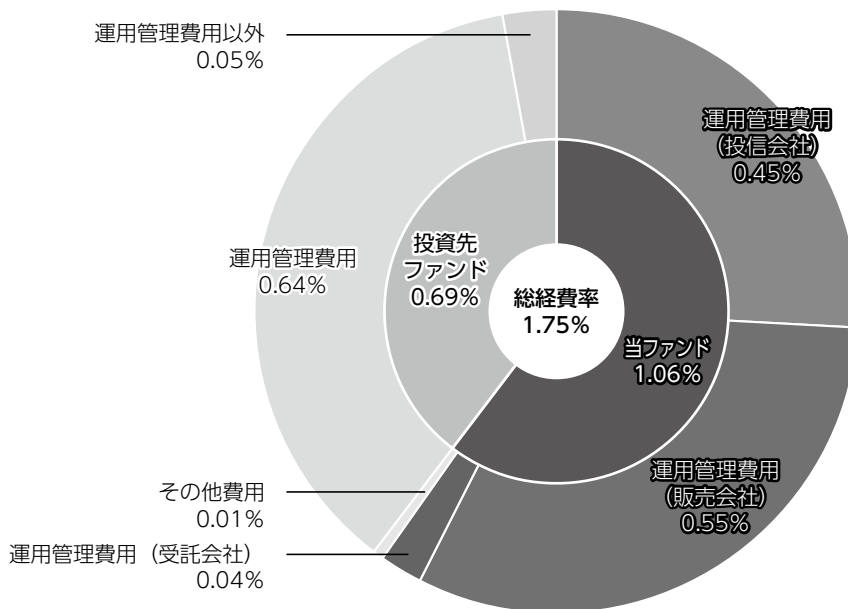
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.75%**です。



総経費率（①+②+③）	(%)	1.75
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.06
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.64
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.05

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2018年1月9日～2023年1月10日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2018年1月9日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2018/1/9 期初	2019/1/9 決算日	2020/1/9 決算日	2021/1/12 決算日	2022/1/11 決算日	2023/1/10 決算日
基準価額 (円)	10,350	9,229	10,174	10,376	10,258	9,586
期間分配金合計（税込み） (円)	—	120	265	325	1,350	210
分配金再投資基準価額騰落率（％）	—	-9.7	13.2	5.3	12.3	-4.6
純資産総額 (百万円)	2,262	1,812	1,877	1,778	1,664	1,520

※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第62期～第63期：2022年7月12日～2023年1月10日

投資環境について

【株式】

株式市場は、日本は下落し、海外先進国は上昇しました。

海外先進国の株式市況は、インフレや海外主要中央銀行による金融政策への不透明感が根強い中、底堅い企業業績などが好材料となり、上昇しました。

国内の株式市況は、先行きの金融政策の不透明感から、景気減速への警戒感が高まったことなどから、軟調な展開となりました。

新興国株式は下落しました。

【債券】

債券利回りは、日本、海外先進国のいずれも上昇しました。

海外先進国の債券利回りは、海外主要中央銀行による金融引き締めへの警戒感や、物価上昇に対する懸念などを背景に上昇しました。

国内の債券利回りは、日銀による金融政策の修正などを受け上昇しました。

新興国債券のスプレッド（米国債に対する上乗せ金利）は縮小しました。

【リート】

リート市場は、日本、海外先進国のいずれも下落しました。

リート市況は、金利の上昇などを受け、日本、海外先進国のいずれも下落しました。

【為替】

為替市場は、対円で米ドルは下落し、ユーロは上昇しました。

米ドルは日銀による金融政策の修正などから円に対して下落しました。

ユーロは日欧金利差拡大などから対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

世界の株式・債券・オルタナティブ資産を実質的な主要投資対象とし、分散投資を行うことにより、着実な値上がり益の獲得と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。各資産内においては、基本投資割合を株式40％程度、債券40％程度、オルタナティブ資産20％程度としました。

当期間を通じて、投資信託証券を高位に組み入れた運用を行いました。なお、指定投資信託証券の組入比率は三菱アセット・ブレインズ株式会社からの助言に基づいて決定しました。

各月末での指定投資信託証券への投資割合は次表をご参照ください。

(ご参考)

■ 指定投資信託証券別組入比率表

												(%)
資産	基本投資割合	資産クラス	基本投資割合	指定投資信託証券	2022年7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	過去6ヵ月騰落率	運用会社(再委託会社)
株式	40	日本株式	10	三菱UFJ 日本株スタイル・ミックス・ファンドF	3.8	3.9	3.9	3.9	4.1	3.9	0.0	三菱UFJ J 国際投信
				ストラテジック・バリュー・オープンF	3.9	4.0	4.1	3.8	4.0	4.0	1.9	野村アセットマネジメント
				GIMザ・ジャパン	1.9	2.0	2.0	1.9	2.1	2.1	1.4	J Pモルガン・アセット・マネジメント
		海外株式	25	MF S 外国株グロース・ファンドF	24.7	24.2	24.6	25.0	24.3	24.8	-2.0	MF S インベストメント・マネジメント
				シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF	1.8	1.8	1.8	1.7	1.9	1.9	-6.0	シュローダー・インベストメント・マネジメント
				GIMエマージング株式ファンドF	2.8	2.9	2.8	2.7	2.9	2.8	-7.1	J Pモルガン・アセット・マネジメント
	40	日本債券	10	三菱UFJ 日本債券ファンドF	4.9	4.9	5.1	4.8	4.8	4.9	-2.7	三菱UFJ J 国際投信
				ノムラ日本債券オープンF	4.9	4.9	5.1	4.8	4.8	4.9	-2.6	野村アセットマネジメント
				グローバル債券コア・ファンド	19.6	19.9	19.9	19.5	19.7	19.6	-5.2	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
		エマージング債券	5	アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB	4.8	4.9	5.0	4.8	4.8	4.8	-1.2	アライアンス・バーンスタイン
				ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド*	4.8	4.9	4.9	4.8	4.9	5.1	1.0	ベアリング・アセット・マネジメント、ベアリングス・エルエルシー
オルタナティブ資産	20	不動産投資信託	10	MUAM J-REITマザーファンド	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	-1.0	三菱UFJ J 国際投信
				MUAM G-REITマザーファンド	9.4	8.9	8.6	9.3	9.2	8.9	-8.6	三菱UFJ J 国際投信
				グローバル・アセット・モデル・ファンドF	9.6	10.0	9.7	9.6	10.0	9.9	-4.2	野村アセットマネジメント

(注) 数値は純資産総額に対する投資割合。

(注) MUAM J-REITマザーファンドおよびMUAM G-REITマザーファンドについては、親投資信託の評価額で示しています。

(注) 騰落率は直近月末を起点とした過去6ヵ月間を示したもので、各投資信託証券の評価対象日(当ファンドへの実質的な反映日)に基づいて算出しています。従って、当ファンドの計算期間とは異なります。

(注) *の記載のある指定投資信託証券は、為替ヘッジを行う投資信託証券です。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第62期 2022年7月12日～2022年10月11日	第63期 2022年10月12日～2023年1月10日
当期分配金（対基準価額比率）	30 (0.312%)	30 (0.312%)
当期の収益	－	10
当期の収益以外	30	19
翌期繰越分配対象額	310	290

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

資産クラスごとに、定量・定性の両面から高く評価できるファンドを中心に組み入れ、効率的なリスク・リターン特性を持つファンド・ポートフォリオの構築をめざします。投資対象ファンドの選定にあたっては、パフォーマンスデータを基にした定量分析に加え、ファンドマネジャーへのインタビューなどを通じ徹底した定性評価を行い、投資ファンドを厳選します。

資産クラスごとに組み入れたファンド全体で、それぞれが投資する市場の収益率を上回ることをめざし、ファンドの投資割合を策定します。資産クラスごとに組み入れたファンドのリスクが、それぞれの市場のリスク特性から大きく外れないように全体として各ファンドの組入比率を調整し、リスク管理を行います。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

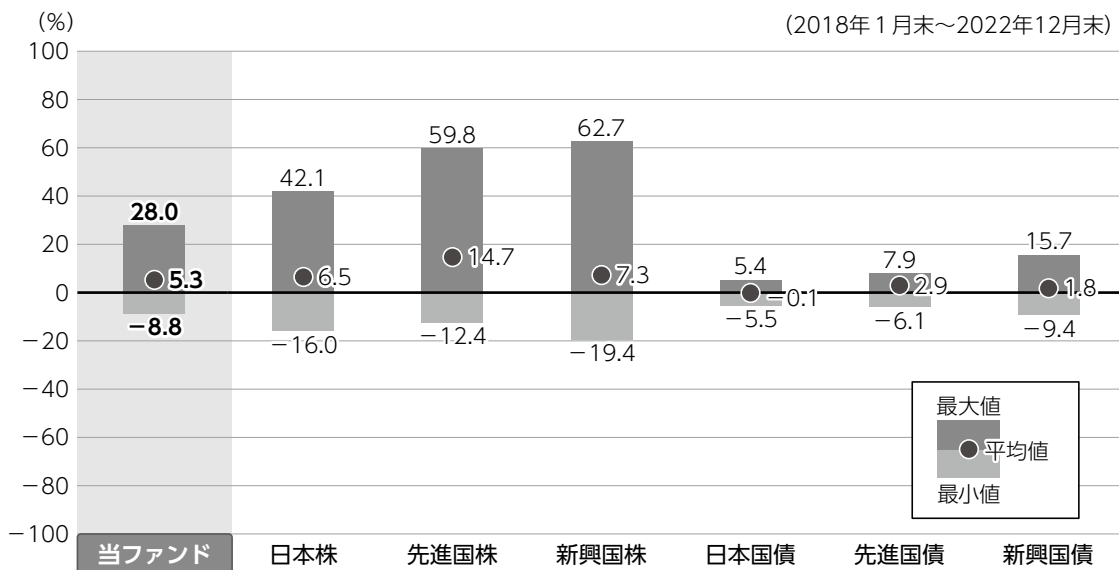
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から２ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufig.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	無期限（2007年3月28日設定）
運 用 方 針	主として、国内外の各株式、国内外の各債券、世界の不動産投資信託証券について各資産を実質的な投資対象とする投資信託証券、ならびに国内外の株式・債券の先物取引、為替予約取引等を実質的な投資対象とし絶対収益の獲得をめざす投資信託証券に投資します。各資産毎の投資信託証券への配分比率は、信託財産の純資産総額に対して以下の比率とすることを基本とします。 ・主として株式を実質的な投資対象とする投資信託証券…概ね40％程度 ・主として債券を実質的な投資対象とする投資信託証券…概ね40％程度 ・主として不動産投資信託証券を実質的な投資対象とする投資信託証券および絶対収益の獲得をめざす投資信託証券…概ね20％程度 投資信託証券への投資にあたっては、別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）の中から、分散して投資を行います。また各投資信託証券の組入比率は適宜見直しを行います。指定投資信託証券は、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。この際、投資信託証券が指定投資信託証券から外れることや、新たに指定投資信託証券に指定されることがあります。また、投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。
主要投資対象	別に示した投資対象ファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	世界の株式・債券・オルタナティブ資産を実質的な主要投資対象とし、分散投資を行うことにより、着実な値上がり益の獲得と安定した収益の確保をめざします。
分 配 方 針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定するものとします。なお、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2018年1月から2022年12月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2023年1月10日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：14銘柄)

ファンド名	第63期末 2023年1月10日
MF S 外国株グロース・ファンドF	25.1%
グローバル債券コア・ファンド	19.6%
グローバル・アセット・モデル・ファンドF	9.6%
MUAM G－REITマザーファンド	8.9%
ベアリングス・グローバル・ハイ・イールド・ボンド・ファンド	5.2%
三菱UFJ 日本債券ファンドF	4.9%
ノムラ日本債券オープンF	4.9%
アライアンス・バーンスタイン・エマージング市場債券ファンドB	4.8%
三菱UFJ 日本株スタイル・ミックス・ファンドF	3.9%
ストラテジック・バリュー・オープンF	3.8%
GIMエマージング株式ファンドF	3.0%
シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF	1.9%
GIMザ・ジャパン	1.9%
MUAM J－REITマザーファンド	0.8%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

※上記のうち、上位3ファンドについては、「組入上位ファンドの概要」を後掲しています。

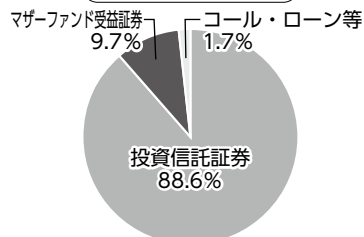
純資産等

項 目	第62期末 2022年10月11日	第63期末 2023年1月10日
純資産総額 (円)	1,532,210,737	1,520,909,654
受益権口数 (口)	1,597,130,554	1,586,667,849
1万口当たり基準価額 (円)	9,594	9,586

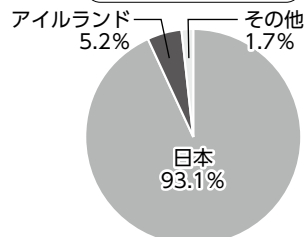
※当作成期間中（第62期～第63期）において追加設定元本は5,970,998円
同解約元本は 33,016,773円です。

種別構成等

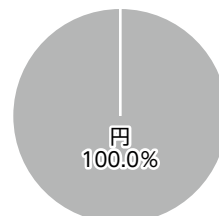
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が５％未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

2022年10月20日現在

組入上位ファンドの概要

MF S 外国株グロース・ファンドF

基準価額の推移

2021年10月21日～2022年10月20日



組入ファンド

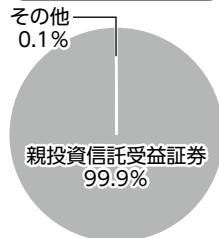
(組入銘柄数：1 銘柄)

ファンド名	第14期末 2022年10月20日
MF S 外国株グロース マザーファンド	99.9%

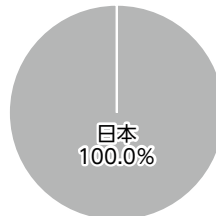
※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

種別構成等

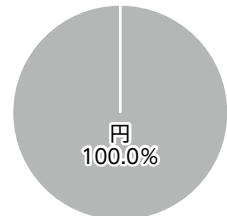
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

1 万口当たりの費用明細

2021年10月21日～2022年10月20日

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信 託 報 酬	515	0.866	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(491)	(0.825)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(13)	(0.022)	口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(11)	(0.019)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)売買委託手数料	10	0.017	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(10)	(0.017)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(c)そ の 他 費 用	59	0.099	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(25)	(0.042)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(31)	(0.052)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(3)	(0.005)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	584	0.982	

期中の平均基準価額は、59,519円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

2022年10月20日現在

組入上位ファンドの概要

MF S 外国株グロース マザーファンド

基準価額の推移

2021年10月21日～2022年10月20日



組入上位10銘柄

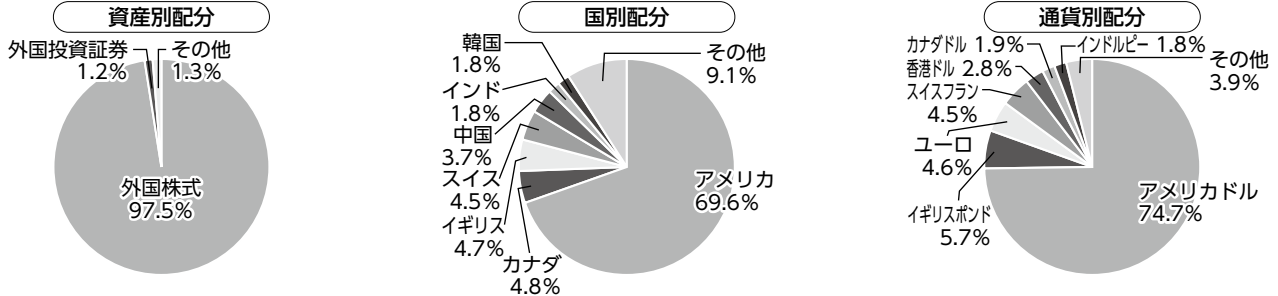
(組入銘柄数：75銘柄)

	銘柄名	種別	国	比率(%)
1	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	アメリカ	5.6
2	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ	5.0
3	CANADIAN PACIFIC RAILWAY LTD	運輸	カナダ	2.9
4	ACCENTURE PLC-CL A	ソフトウェア・サービス	アメリカ	2.6
5	VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	アメリカ	2.5
6	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカ	2.4
7	ICON PLC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカ	2.1
8	ELECTRONIC ARTS INC	メディア・娯楽	アメリカ	2.1
9	FISERV INC	ソフトウェア・サービス	アメリカ	2.1
10	BOSTON SCIENTIFIC CORP	ヘルスケア機器・サービス	アメリカ	2.1

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※国別配分において、コール・ローン等は「その他」に分類しています。

1 万口当たりの費用明細

2021年10月21日～2022年10月20日

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 売買委託手数料	11	0.017	(a) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(11)	(0.017)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(b) そ の 他 費 用	30	0.045	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(27)	(0.040)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（そ の 他）	(3)	(0.005)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	41	0.062	

期中の平均基準価額は、67,628円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

2022年6月15日現在

組入上位ファンドの概要

▶ グローバル債券コア・ファンド

基準価額の推移

2021年6月15日～2022年6月15日



組入ファンド

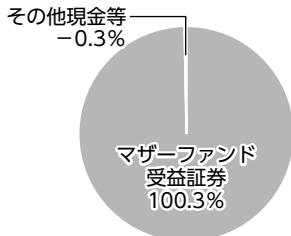
(組入銘柄数：1 銘柄)

ファンド名	第6期末 2022年6月15日
グローバル・アグリゲート（除く日本） マザーファンド	100.3%

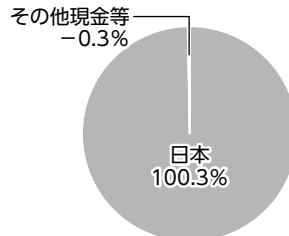
※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

種別構成等

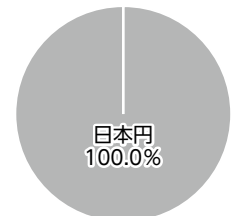
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2021年6月16日～2022年6月15日		
	金額 (円)	比率 (%)	
信 託 報 酬	67	0.561	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(59)	(0.495)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(3)	(0.022)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.044)	ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.015	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(先物・オプション)	(2)	(0.015)	
(プライムブローカー)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	2	0.019	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.009)	海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.007)	運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
合 計	71	0.595	
期中の平均基準価額は11,935円です。			

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

2022年6月15日現在

組入上位ファンドの概要

▶ グローバル・アグリゲート (除く日本) マザーファンド

基準価額の推移

2021年6月15日～2022年6月15日



組入上位10銘柄

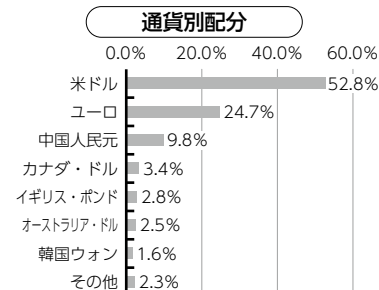
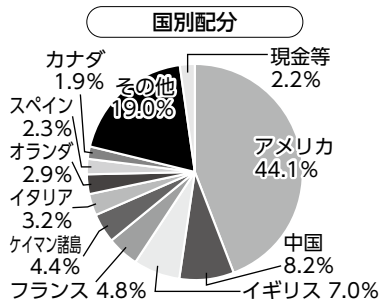
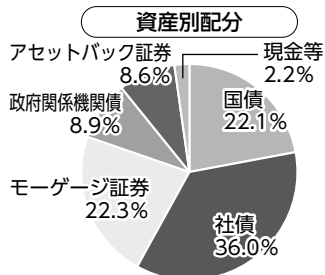
(組入銘柄数：578銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率(%)
1	中国国債 2.85% 2027年6月4日	国債	中国人民元	4.0
2	フレディマック 4% 2052年5月1日	モーゲージ証券	米ドル	3.0
3	フレディマック 6.75% 2031年3月15日	政府関係機関債	米ドル	2.5
4	シダー・ファンディング 2.14429% 2031年7月17日	アセットバック証券	米ドル	2.4
5	ファニーメイ 4.5% 2052年6月1日	モーゲージ証券	米ドル	2.1
6	ジニーメイ 4.5% 2052年5月20日	モーゲージ証券	米ドル	1.7
7	ファニーメイ 2% 2051年12月1日	モーゲージ証券	米ドル	1.7
8	カリフォルニア州 7.625% 2040年3月1日	政府関係機関債	米ドル	1.6
9	中国国債 3.27% 2030年11月19日	国債	中国人民元	1.5
10	韓国国債 1.875% 2029年6月10日	国債	韓国ウォン	1.5

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2021年6月16日～2022年6月15日		
	金額（円）	比率（％）	
売 買 委 託 手 数 料	4	0.015	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（先物・オプション）	(4)	(0.015)	
（プライムブローカー）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	3	0.011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.009)	海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務処理等に要するその他の諸費用
合 計	7	0.026	

期中の平均基準価額は25,912円です。

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

2022年3月7日現在

組入上位ファンドの概要

▶ グローバル・アセット・モデル・ファンドＦ

基準価額の推移

2021年3月5日～2022年3月7日



組入ファンド

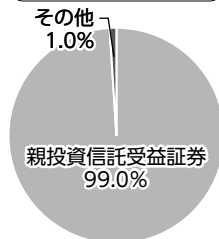
(組入銘柄数：1 銘柄)

ファンド名	第16期末 2022年3月7日
グローバル・アセット・モデル・ファンド マザーファンド	99.0%

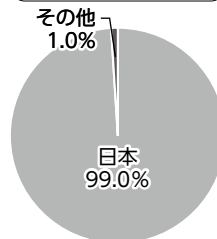
※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

種別構成等

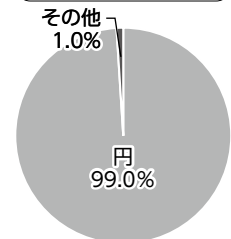
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

1 口当たりの費用明細

2021年3月6日～2022年3月7日

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信託報酬(基本報酬)	122	0.995	(a)信託報酬(基本報酬)＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投 信 会 社）	(109)	(0.885)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（販 売 会 社）	(7)	(0.055)	口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（受 託 会 社）	(7)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b)信託報酬(成功報酬)	－	－	(b)信託報酬(成功報酬)は、基本報酬額に加えて、委託会社が受領するハイ・ウォーターマーク方式による成功報酬額で、一定時点毎の基準価額が過去の一定時点における最高値を更新している場合に受領する仕組みになっています。
(c)売買委託手数料	5	0.039	(c)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(5)	(0.039)	
(d)そ の 他 費 用	12	0.095	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(11)	(0.091)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	139	1.129	

期中の平均基準価額は、12,300円です。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

2022年3月7日現在

組入上位ファンドの概要

▶ グローバル・アセット・モデル・ファンド マザーファンド

基準価額の推移

2021年3月5日～2022年3月7日



組入上位10銘柄

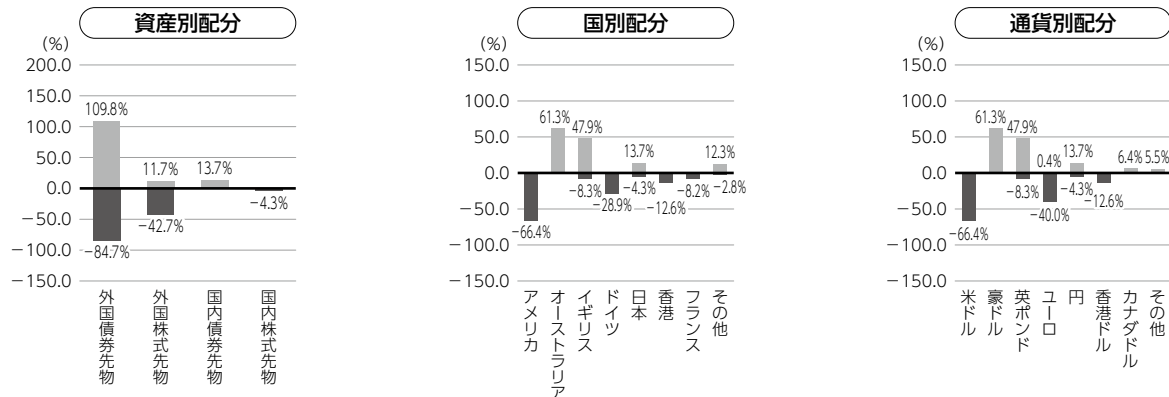
(組入銘柄数：18銘柄)

	銘柄	種類	国 (地域)	比率(%)
1	T-NOTE 2206	債券先物 (売建)	アメリカ	65.6
2	AU10YR 2203	債券先物 (買建)	オーストラリア	56.3
3	GILTS 2206	債券先物 (買建)	イギリス	47.9
4	BUNDS 2206	債券先物 (売建)	ドイツ	19.0
5	2 2 0 3 限月 先物長期国債	債券先物 (買建)	日本	13.7
6	HANGSENG2203	株式先物 (売建)	香港	12.6
7	DAX302203	株式先物 (売建)	ドイツ	9.9
8	FT1002203	株式先物 (売建)	イギリス	8.3
9	CAC402203	株式先物 (売建)	フランス	8.2
10	CANADA 2206	債券先物 (買建)	カナダ	5.7

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

種別構成等



※比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

※国（地域）および国別配分は、発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

※その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

1 万口当たりの費用明細

2021年3月6日～2022年3月7日

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 売買委託手数料	6	0.041	(a) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 ※ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(6)	(0.041)	
(b) その他費用	16	0.104	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（その他）	(16)	(0.103)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	22	0.145	

期中の平均基準価額は、15,788円です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）

東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。ＴＯＰＩＸの指数値及びＴＯＰＩＸに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などＴＯＰＩＸに関するすべての権利・ノウハウ及びＴＯＰＩＸに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバースファイド

J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバースファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信